

科学研究費・基盤研究（B）

第二回研究フォーラム

「井筒・東洋哲学の比較宗教学的検討」

東洋思想・イスラームの世界的碩学、井筒俊彦（1914－1993）は、世界の諸宗教思想に精通したうえで、独自の「東洋哲学」を構想したことで知られます。彼は東洋の主要な思想テクストを意味論的に読むことによって、「東洋哲学」という思想空間を創出しようと試みました。

今年（2014年）は、井筒の生誕100年に当たり、現在、井筒俊彦全集（慶應義塾大学出版会）が刊行中です。井筒・東洋哲学は今日、海外でも幅広く注目されていますが、科研・共同研究の企画として、下記の通り、第二回研究フォーラムを開催させていただきます。

日時： 11月22日（土）14：00～17：00

場所： 東京大学東洋文化研究所・会議室

【発題1】「井筒俊彦における哲学と体験」

氣多雅子（京都大学教授）

【発題2】「井筒俊彦とユダヤ思想

—哲学者マイモニデスを中心に—

市川 裕（東京大学教授）

全体討議

この研究フォーラムは、科学研究費助成事業・基盤研究（B）「井筒・東洋哲学の構築とその思想構造に関する比較宗教学的検討」（研究代表者 澤井義次）によって開催させていただきます。